

大会名 Competition	第32回 能代カップ 高校選抜バスケットボール大会
No. M-115	Year Month Day Time 2019 年 5 月 5 日 16 : 10
場 所 Place	能代市総合体育館

発行：能代市バスケットボール協会  
http://ncup.snowland.net



チームA		チームB					
能代工業	<table border="1"> <tr><td>16 1st 19</td></tr> <tr><td>15 2nd 21</td></tr> <tr><td>19 3rd 14</td></tr> <tr><td>15 4th 18</td></tr> <tr><td>0 T</td></tr> </table>	16 1st 19	15 2nd 21	19 3rd 14	15 4th 18	0 T	明 成
16 1st 19							
15 2nd 21							
19 3rd 14							
15 4th 18							
0 T							
65 ●		72 ○					

主審:Crew chief  
松本究 佐賀  
副審:Umpire  
加川 真 宮城  
中道凌平 秋田  
テーブルオフィシャル:Table officials  
能代高校女子

No.	PI-in	選手氏名	Name of Players	PTS	3P	2P	FT	F	No.	PI-in	選手氏名	Name of Players	PTS	3P	2P	FT	F
4	×	須藤 陸	CAP	16	4	2	0	1	4	／	小川 祥英		14	1	4	3	0
5	／	粟屋 颯太		14	0	5	4	2	5	／	一戸 啓吾		3	1	0	0	0
6	×	森山 陽向		2	0	1	0	3	6	×	越田 大翔		11	1	3	2	4
7	×	秋元 淳之介		13	3	1	2	1	7	×	木村 拓郎	CAP	13	0	6	1	1
8	×	伊東 翼		10	0	5	0	4	8	×	菱倉 崇人		-	-	-	-	0
9	／	上村 悠真		6	2	0	0	2	9	×	加藤 陸		2	0	1	0	0
10	／	上村 大佐		2	0	1	0	5	10	／	山内 ジャナル琉人		-	-	-	-	0
11	×	佐々木 駿汰		2	0	0	2	0	11	／	浅原 紳介		-	-	-	-	0
12		中山 玄己		-	-	-	-	0	12	×	蒔苗 勇人		12	0	6	0	1
13	／	高橋 裕心		0	0	0	0	0	13	／	喜多 陸登		-	-	-	-	0
14		田中 伶治		-	-	-	-	0	14	／	山崎 紀人		-	-	-	-	0
15		成澤 頼		-	-	-	-	0	15	／	玉手 孝明		-	-	-	-	0
16		大石 隼		-	-	-	-	0	16	／	清水 晃		10	0	3	4	0
17		小形 佳史		-	-	-	-	0	17	×	山内 ショウ和哉		7	0	3	1	3
18		藤原 健太郎		-	-	-	-	0	18	／	河合 海輝		-	-	-	-	0
コーチ		小野 秀二						0	コーチ		佐藤 久夫						0
アシ		島内 聡太						0	アシ		高橋 陽介						0
合 計				65	9	15	8	18	合 計				72	3	26	11	9

※×:スター /:交代選手 PTS:ポイント 3P:3ポイントシュート 2P:2ポイントシュート FT:フリースロー F:ファウル

Score ranking[Team]

1	16	24.62%	須藤 陸
2	14	21.54%	粟屋 颯太
3	13	20.00%	秋元 淳之介

1	14	19.44%	小川 祥英
2	13	18.06%	木村 拓郎
3	12	16.67%	蒔苗 勇人

Score ranking[Game]

1	16	須藤 陸	能代工業	2	14	粟屋 颯太	能代工業	3	14	小川 祥英	明 成
---	----	------	------	---	----	-------	------	---	----	-------	-----

1Q、明成は立ち上がりから#6越田のジャンプシュートや#12蒔苗、#7木村のドライブで連続得点。波に乗るかと思われたが、能代工#9上村の3Pで流れを引き戻し、ここからは両チームの守り合いとなる。明成のゾーンディフェンスはボールマンやインサイドへの寄せが早く、能代工の攻めを着実に封じて、#12蒔苗の速攻や#6越田の3Pで得点を重ねていく。一方の能代工業も、粘り強いディフェンスから#9上村や#4須藤が要所で3Pを決めて、僅差の展開に持ち込む。16-19と明成が3点リードして1Qを終える。

2Q、両チームともにハードなディフェンスからターンオーバーを誘う展開となる。明成は#17山内がオフェンスリバウンドからインサイドで得点、また、#16清水が速攻を決めるなど、相手のミスを得点につなげて徐々にリードを広げる。能代工は#5粟屋のインサイド、#4須藤の3Pやオフェンスリバウンドからのリバースレイアップで何とか食い下がる。31-40と明成の9点リードで前半を終える。

3Q、前半とは一転、点の取り合いとなる。能代工は#4須藤や#7秋元の3P、#8伊東のドライブなどで一気に点差を縮める。一方の明成も#4小川や#7木村がドライブで加点し、逆転を許さない。50-54と、明成の4点リードで3Q終了。能代工も逆転が見えてきた。

4Q、明成はディフェンスのプレッシャーを強め、再び流れを引き寄せる。#4小川の速攻や#17山内のインサイド、#5一戸の3Pでリードを9点に広げる。対する能代工は#5粟屋がインサイドで奮闘する。ここで明成#6越田が4ファウルとなり、交代。能代工は#5粟屋がフリースローを確実に決めて食い下がる。ここで能代工はゾーンディフェンスに切り替えて明成のミスを誘い、#5粟屋のインサイド、#7秋元のジャンプシュートや3Pで2点差まで詰め寄る。しかし、能代工は要所で攻めきれず、明成は#12蒔苗のインサイドや、#16清水のフリースローで逆転を許さない。最後は65-72で明成が逃げ切った。粘りを見せた能代工だったが、逆転のチャンスをものにしきれなかった。一方、ここ一番で集中したディフェンスで相手に流れを渡さなかった明成も見事だった。